ハイブリッドスポーツマフラー　実走行燃費テスト

GANADOR

PAE-027/030
シリーズ

第三者検証燃費テスト時も全く同じで行っています。

＝

- 同じ距離を、同じアクセルワーク（同じ加速 / 同じスピード）/ 走行時間も同じで対比テストを繰り返した結果です。
- 各セクションでの、設定速度までに達する時間も同一に管理。

対比の為マフラー交換後、再度走行

出発地点 → 往路 → **中間地点**

一般道路

会社近くの一般道です。

高速道路

一定速度での走行を厳守。

一般道路

山まで、しばらく一般道路。

登坂道路

マフラーの威力を発揮する連続した登り坂。

中間ポイント

頂上で、一休憩。

到着地点 ← 復路 ←

到着ポイント

決められたスタンドで、同じ給油条件で燃費計測。

一般道路

高速道路を降りて一般道路へ。

高速道路

ここでも一定速度をキープ。

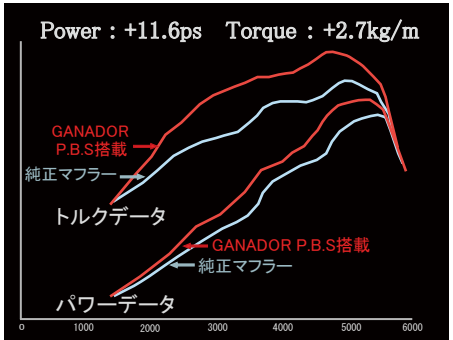
一般道路

山を降りて、しばらく一般道路。

降坂道路

下りも決まったペースで走行。

総走行距離 151.6Km　一般道路 31.9km (21.1%)　高速道路 95.4km (62.9%)　山間道路 24.3km (16.0%)



P.B.S効果のデータです。

※1 P.B.S(パワーブーストシステム)の詳細は弊社ホームページをご覧下さい。
※データは、当社シャーシダイナモでの計測値です。
※純正マフラーのデータ値は、車両個体差・気温・気候等の条件によりメーカーカタログ公表値とは異なる場合があります。
※比較データ値は、全て同じ条件下で計測しています。

車種別P.B.Sマフラーの燃費テスト第三者検証を行なっています。
(業界雑誌 アクティブヒークル・ワゴニスト・スタイルワゴン・各4WD専門誌等)
各燃費向上実証記事はGANADORホームページにてご確認頂けます。

エスティマACR50W(2.400cc) パワー / トルク / 音量 / 重量データ（社内データ）

装着マフラー	パワー (ps)	トルク (kg・m)	ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞ音量(dB)	近接音量 (dB)	重量 (kg)
ノーマルマフラー	166.6	22.7	56.0	80.0	9.2
GANADOR P.B.Sマフラー	178.2	25.4	67.0	86.0	14.3

（上記は、2.400cc用 PAE-030ST のデータです。
3.500cc用 PAE-027ST は同封の取扱説明書をご覧下さい。）

エスティマACR50W(2.400cc) 燃費対比テストデータ（社内データ）

テスト日	天候	走行距離 (km)	給油量 (L)	燃費向上率
2010/2/8	晴れ	151.6	12.53	・・・
2010/2/8	晴れ	151.7	10.83	15.8% アップ

● ハイブリッドマフラー　5大特長

1. 燃費向上	今までのスポーツマフラーの概念を打ち破る、燃費向上（社内データ）を実現。車種別専用設計と膨大なテストデータから誕生。
2. パワーアップ	ノーマルマフラー対比11.6psアップ。パワーアップにより余裕ある運転ができ、さらには高速道路での胸のすくような加速感を体感できます。
3. トルクアップ	ノーマルマフラー対比2.7kg・mアップ。低回転からトルクを生み出し非常に乗りやすく、街中での発進や登坂路でのドライブが快適です。
4. 音量	エスティマ ACR50/GSR50 各専用設計により、車両全体を包み込むような非常に心地よい低音サウンドを奏でます。もちろん新規制対応の車検対応品です。
5. 製品品質	生産工程での品質管理はもとより、マフラー1本1本をシリアルナンバーで管理し、厳重な検査を行い出荷しています。

● 実走行燃費テスト方法・条件

（PAE-027ST は、14.6%アップです。）

1.燃費測定方法
- 給油量の記録（給油機による、自動停止方法を指定、給油量の記録）
  ※同じスタンドにて、同じ停車位置・同じ方向で正確に計測。
- 走行距離は車載ｵﾄﾞﾒｰﾀの記録。（給油時にリセット、次の給油までの距離の記録）
- 走行距離（Km）÷給油量（ℓ）で、燃費データを算出。

2.初期設定、走行条件
- フルノーマル車両/乗員は2名/エアコンON（25℃設定）にて計測。
- 交通法規に準じ、一般道は道路状況の流れに合わせて走行、高速道は100km/h巡航とする。
- 渋滞発生時などは、その場で中止し再テストを行う。

3.走行パターン（トータル性能を確保する為、走行条件を盛り込んだ設定）
- 一般道31.9km（約21%）高速道95.4km（約63%）山道（登り/下り）24.3km（約16%）

4.すべて同一条件での対比テストを行う
- 同一条件項目：走行距離・走行時間・アクセルワーク（加速/スピード）
- 加速時の管理：各セクションでの、設定速度までに達する時間も同一に管理するのが重要。

**燃費対比テストは最も正確と思われる「満タン法」で計測しています。
検証される場合は、本リーフレットと同じ「満タン法」で行なって下さい。**